

2年学年だより

大淀中学校 2年 平成29年6月30日 第15号

(*^_^*)テストが終わった!!

ヤッホッホー!(^~^)!というのが、正直な気持ちでしょう。よくわかります。毎日がテスト前日の気分なんて・・・耐えられません。ひと息ついたら、良いと思います。

要するに、切り替えと集中だと思います。そして、「準備→実行→後始末」のサイクルを大事にすることです。テスト計画とテストに向けての学習が準備、テストを受験することが実行、後始末とは・・・。

今日からテストが返却されると思います。国語もヒイホーと採点しました。テストが終われば、生徒さんはヤッホッホー!!先生たちはヒイホー!?私にとっては、採点は苦行ではありません。ひとりひとりの成長の足跡を感じられる〇つけは楽しみでもあります。数字が苦手な私にとって、点数を勘定するのが苦行であります。[そんな私の特性を見抜いていた父は、私を無理やりそろばん塾に通わせたのでしょうか・・・]

後始末とは、テスト後の解説をしっかりと聴いて、やり直しをすること。同じミスを繰り返さないようにすること。

具体的には、目標点に達するまでやり直しをすることです。3回繰り返してごらんなさい。5回繰り返してごらんなさい。光明が射してくるはずです。

「良いと思えばすぐ実行」

できるときに、できるだけのことをしてみよう!!] 難しく考えすぎずに、一歩踏み出してみよう!!やり直しをしようと思う人は、教科担任の先生のもとに走れ!!

今なら間に合う!!残部があるはずだ。

※国語解答用紙、残部僅少。

)^o^(職業選択② 小西先生の場合

自分は小学生の頃から教師になるのが夢でした。恩師への憧れと学校そのものが好きだったことが、大きかったと思います。

学校へ行くのが楽しみで、小学校から高校までの12年間、皆勤でした。風邪を引くひまもないくらい毎日が楽しい日々でした。

もちろん、先生に叱られることもあったし、友だちとも喧嘩をすることもあったりして、良いことばかりではありませんでした。

それも今となっては苦い思い出も含めて、今の自分を形成するために必要な時間だったと感じています。

みんなが中学生でいられる時間は、思っている以上に短いものなのです。後戻りはできません。『今』を大切にして、2年生全員で、最高の思い出を作りましょう。

!(^~^)ニックネーム

ニックネームしか出てこない友だち。そんな友だちがあなたにはいますか。そんな友だちや先輩や後輩が年々歳々増えるものです。齢を重ねるということは、そんな一面もあるのです。

彼は「いしこ」と呼ばれた。中二になってからである。中一のころの彼が、何と呼ばれていたのかは知らないが、彼が「いしこ」と呼ばれるようになった経緯は覚えている。

中二で同じクラスになった。国語の教科書に石河 利寛 [いしこ としひろ]順天堂大学教授[運動生理学専門]の説明文が載っていた。石河教授の顔写真に似ていたことから、彼は「いしこ」と呼ばれるようになったのだ。それ以来、彼はずっと「いしこ」と呼ばれた。卒業後40年の月日が流れ去った今でも、彼は「いしこ」と呼ばれている。

中二の夏。彼は私の夏休みを決定づけた。詳細は次回に譲る。

※学年黒板のディスプレーが7月バージョンになりました。作成は3組 青島さん、飾り付けは3組田原さんと藤井さんです。

